



2022年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年6月16日

上場会社名 不二精機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6400 URL <https://www.fujiseiki.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伊井 剛
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 藤本 由数 TEL 06-7166-6822
 四半期報告書提出予定日 2022年6月16日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第1四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第1四半期	1,958	5.5	183	△12.3	193	△5.6	149	△34.7
2021年12月期第1四半期	1,856	4.1	209	62.4	204	51.0	228	91.1

(注) 包括利益 2022年12月期第1四半期 233百万円 (△29.9%) 2021年12月期第1四半期 332百万円 (200.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第1四半期	18.71	18.64
2021年12月期第1四半期	28.73	28.53

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年12月期第1四半期	8,521	2,350	27.6	294.81
2021年12月期	8,178	2,195	26.8	275.51

(参考) 自己資本 2022年12月期第1四半期 2,350百万円 2021年12月期 2,195百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2022年12月期	—	—	—	—	—
2022年12月期（予想）	—	0.00	—	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	4,007	5.8	218	△42.0	193	△51.5	154	△58.0	19.33
通期	7,909	5.9	427	△29.5	375	△39.1	300	△40.7	37.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年12月期1Q	9,054,000株	2021年12月期	9,054,000株
② 期末自己株式数	2022年12月期1Q	1,080,009株	2021年12月期	1,085,109株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年12月期1Q	7,970,166株	2021年12月期1Q	7,952,216株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、依然として新型コロナウイルス感染症の影響により、それまでの雇用情勢や所得環境の改善による景気の緩やかな回復基調は一変し、米国、中国の対立やロシアによるウクライナ侵攻の影響も懸念されるなど海外経済の不確実性が高まり、先行きは依然として不透明な状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループは、中期スローガンとして「安心をお届けする不二精機グループ」を掲げ、品質管理体制の徹底強化によるグループ一体となった顧客満足の更なる追求を図り、精密金型のコア技術をもとに自動車及び二輪車などの成形事業分野への積極的な展開を行い、顧客への高付加価値製品の提供による安定受注の拡大に努めてまいりました。

また、「『考動』で価値を創る」をグループ全社員の行動規範とし、「お客様の利益の最大化」を目標に、新たな価値創造、また「5S活動」を基本とする着実な品質改善活動に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、射出成形用精密金型及び成形システム事業、精密成形品その他事業の売上高が共に増加したことにより、前年同四半期比1億1百万円(5.5%)増加の19億58百万円となりました。

損益につきましては、主として射出成形用精密金型及び成形システム事業において収益性の高い医療機器用精密金型の売上高が落ち着きを見せたことにより、営業利益は、前年同四半期比25百万円(12.3%)減少の1億83百万円となりました。為替差益、補助金収入の増加により営業外収益が6百万円増加し、一方、支払利息などの減少により営業外費用が8百万円減少したことにより、経常利益は、前年同四半期比11百万円(5.6%)減少の1億93百万円となりました。特別損益項目、法人税等を加え、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期比79百万円(34.7%)減少の1億49百万円となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

<射出成形用精密金型及び成形システム事業>

自動車用精密金型の売上高が前年同四半期に比べ増加した一方で、これまで当事業の売上高の多くを占めてきました医療機器用精密金型の売上高が前年同四半期に比べ減少したことなどにより、当セグメントの売上高は、前年同四半期比49百万円(6.0%)増加の8億76百万円となりました。原材料価格の高騰などの影響を受け、セグメント利益は、前年同四半期比47百万円(35.9%)減少の85百万円となりました。

なお、個別受注生産である当事業の未検収の受注残高は、安定的に推移しております。

<精密成形品その他事業>

主力製品である自動車部品用成形品は東南アジア市場を中心に中期的な受注をいただき、売上高はタイ及びインドネシアの子会社では好調に推移いたしました。中国上海の子会社では前年同四半期を下回りました。一方、新型コロナウイルス感染症の影響を受けておりましたが、国内においては情報分野へのディスクケースなどの売上が増加しました。その結果、当セグメントの売上高は、前年同四半期比87百万円(8.4%)増加の11億34百万円となり、セグメント利益は、前年同四半期比16百万円(23.6%)増加の87百万円となりました。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年2月14日付で公表しました第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。なお、新型コロナウイルス感染症の影響については今後の経過を注視してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	899,107	943,428
受取手形及び売掛金	1,200,877	1,508,607
電子記録債権	203,184	197,409
製品	845,071	800,221
仕掛品	494,042	465,493
原材料及び貯蔵品	172,770	208,350
未収入金	56,280	68,769
その他	170,059	196,900
貸倒引当金	△3,623	△4,832
流動資産合計	4,037,769	4,384,349
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	684,724	712,526
機械装置及び運搬具(純額)	865,310	912,079
工具、器具及び備品(純額)	496,496	553,409
土地	734,781	734,781
リース資産(純額)	407,958	364,500
建設仮勘定	438,478	381,378
有形固定資産合計	3,627,750	3,658,676
無形固定資産		
のれん	31,008	30,039
その他	73,890	72,748
無形固定資産合計	104,899	102,788
投資その他の資産		
投資有価証券	183,692	153,828
長期貸付金	5,733	5,733
繰延税金資産	58,346	49,741
その他	171,038	176,916
貸倒引当金	△10,865	△10,908
投資その他の資産合計	407,944	375,311
固定資産合計	4,140,594	4,136,776
資産合計	8,178,363	8,521,125

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	959,843	904,533
電子記録債務	160,715	150,465
短期借入金	2,561,315	2,791,499
リース債務	129,113	122,003
未払金	217,345	211,432
未払法人税等	102,439	120,336
前受金	460,964	—
契約負債	—	444,936
賞与引当金	72,866	52,183
製品保証引当金	32,836	32,532
その他	135,979	148,590
流動負債合計	4,833,420	4,978,512
固定負債		
長期借入金	836,419	919,460
リース債務	183,772	162,480
繰延税金負債	48,777	36,958
退職給付に係る負債	46,315	49,488
役員退職慰労引当金	14,539	3,403
資産除去債務	18,921	19,667
長期前受収益	569	233
固定負債合計	1,149,315	1,191,691
負債合計	5,982,735	6,170,204
純資産の部		
株主資本		
資本金	500,000	500,000
資本剰余金	738,793	739,237
利益剰余金	834,214	903,542
自己株式	△268,352	△266,866
株主資本合計	1,804,656	1,875,913
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,139	2,962
為替換算調整勘定	366,718	471,945
その他の包括利益累計額合計	390,858	474,908
新株予約権	113	99
純資産合計	2,195,627	2,350,921
負債純資産合計	8,178,363	8,521,125

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
売上高	1,856,660	1,958,649
売上原価	1,359,863	1,522,863
売上総利益	496,797	435,786
販売費及び一般管理費	287,343	252,097
営業利益	209,453	183,689
営業外収益		
受取利息	687	722
為替差益	11,041	15,110
補助金収入	—	3,024
その他	2,864	2,019
営業外収益合計	14,593	20,877
営業外費用		
支払利息	12,428	8,636
コミットメントライン手数料	3,000	2,000
その他	4,089	754
営業外費用合計	19,517	11,390
経常利益	204,529	193,176
特別利益		
固定資産売却益	75,936	—
特別利益合計	75,936	—
特別損失		
固定資産売却損	1,175	—
固定資産除却損	61	431
特別損失合計	1,237	431
税金等調整前四半期純利益	279,228	192,745
法人税、住民税及び事業税	70,577	36,402
法人税等調整額	△29,302	7,212
法人税等合計	41,275	43,615
四半期純利益	237,952	149,130
非支配株主に帰属する四半期純利益	9,497	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	228,455	149,130

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)
四半期純利益	237,952	149,130
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	10,438	△21,176
為替換算調整勘定	84,333	105,226
その他の包括利益合計	94,772	84,049
四半期包括利益	332,724	233,180
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	323,608	233,180
非支配株主に係る四半期包括利益	9,116	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高、売上原価、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響も軽微であります。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動負債」に表示していた「前受金」は、当第1四半期連結会計期間より「契約負債」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号 2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第1四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。